

# 観光産業と石垣

情報工学府情報工学専攻D1 上井 竜己



した店舗が多いという印象を受けました。また、通りを行き来する人々を見ていても、8割以上が観光客だろうと感じました。

平成26年11月17日〜20日に沖縄県石垣市で開催された、国際会議（APCCAS2014）に参加してきました。福岡空港を夕方に出発し、那覇空港経由で石垣空港に着いたのは、夜9時過ぎでした。あいにくの雨でしたが、タイミング良く石垣市内行きのバスに乗ることができ、滞在先ホテルに10時頃には到着することができました。その晩は雨だったこともあり、ホテル側のA&Wで簡単に夕食を済ませることにしました。A&W店内の窓側の席に座り、外を眺めながらハンバーガーを食べましたが、「八重山そば」、「石垣牛」等のほりを掲げた飲食店やお土産店がほとんどで、観光客をターゲットと

石垣滞在中に、何度かタクシーを利用しましたが、運転手はフレンドリーで、様々な話を聞くことができました。おいしいお店やおすすめの観光地、人気のお土産はもちろん石垣市の市政情勢についても教えてくれました。運転手から聞いた話の中で、一つ考えさせられた話を紹介します。特別天然記念物イリオモテヤマネコで有名な西表島についてです。西表島は石垣島周辺の離島の一つで、石垣島からフェリーで45分程のところに位置しています。イリオモテヤマネコのおかげで観光地として人気が高く、自然豊かな西表島には毎年多くの観光客が訪れています。しかし、観光客が増え島の経済が潤う反面、西表島の自然が破壊されているそうです。フェリーが通った後の波でマングローブの根が侵食され、観

光地化したビーチでは珊瑚が死に、人の出入りが多くなった森では多くの植物と動物が減少していると、悲しそうに話していました。また、観光客で経済が回っているため、簡単に観光客数の規制などもかけられないことも教えてくれました。今回の滞在中で西表島を訪問する機会はありませんでした。きっと私から見れば自然豊かに感じるのだと思います。しかし、子供のころから西表島を知っている運転手から見ると、すでに多くの自然が破壊されてしまっているのでしょうか。石垣島に限らず、観光産業と自然保護の問題は多くの観光地が抱えている問題だと思えます。タクシーを降りた後も、西表島の話と運転手の悲しそうな表情はずっと頭から離れませんでした。

るため、時間を気にすることなく有意義な議論を行うことができました。多くの議論を通して、私達のシステム評価プラットフォームの利点と問題点、そして要求される機能を明確にすることができました。今後、自身の研究へ反映していく予定です。最後にこの場を借り、論文執筆および発表にご指導いただいた尾知博教授、研究室関係者各位、並びに奨学金を援助していただいた明専会に厚くお礼申し上げます。

（平成26年12月記）



写真-1 デモンストレーション展示